

校長先生の初恋物語

第37話 2人だけの秘密

によろひげパワーを感じたのは、給食の時間です。その日のメニューは、ハンバーグです。ハンバーグは、とっくんの大好きなメニューです。そのハンバーグのことで、とっくんには、素晴らしいことがおこったのです。

とっくんは、大好きなハンバーグを、おいしそうに食べていたみたいです。そんな幸せそうなとっくんを見て、よしこさんが、こんなことを言いました。

「とっくんは、ハンバーグが好きなんだね。」

「そうだよ。ぼくは、食べ物の中では、ハンバーグが一番好きなんだよ。」

「そうなんだー。わたしも、ハンバーグが大好きなんだよ。」とっくんとよしこさんは、同じ食べ物が好きということがわかりました。2人の相性はぴったりってことです。それだけでも幸せな気持ちになりましたが、によろひげのパワーはこんなものではありません。

「ぼくのお母さんがつくるハンバーグは、とってもおいしいんだよ。」

「ふーん、そうなんだ。わたしもよく、自分でハンバーグをつくるんだよ。わたし、ハンバーグつくるのが、得意なんだよ。」

ハンバーグをつくるのが得意ってことを教えてくれたんです。このことは、恋のライバル、足長君も知らないはずですよ。さあ、ここからがによろひげのすごいパワーです。



「そうだ！もうすぐ遠足でしょ。その時に、おたがいにハンバーグ持ってこようよ。とっくんはお母さんのおいしいハンバーグを持ってきて。よしこは、とっくんのために、ハンバーグをつくるから、こうかんしょっ。いいでしょ♡」

まじでー。よしこさんのハンバーグを食べられるなんてー。とっくんがことわるわけがありません。

「とっくんと、よしこだけの秘密にしようね♡ みんなには、内緒ね♡」

うっひょー。でたー。すごいぞ、によろひげパワー。

こうして、とっくんとよしこさんだけの秘密ができました。よしこさんの愛の手作りハンバーグを食べることができるようです。夢のような話です。「やっぱり、によろひげには、すごいパワーがあったんだ。によろひげ先生、ありがとう。によろひげ、ばんざい。」何も知らずに給食を食べているによろひげ先生に向かって、心の中で何度もお礼を言いました。

足長君にじまんしたくてたまらなくなりました。でも、言えません。知られたりしたら、せっかくの仲良しが、また元通りになってしまうかもしれません。友情にひびがはいります。よしこさんは、「2人だけの秘密」って言ったんです。

その日から、遠足が来るのを楽しみにしていました。1日、また1日、よしこさんのハンバーグを食べることができるようが近づいていきます。毎日、るんるんです。

ところが、遠足の前の日になって、よしこさんの愛のハンバーグが遠ざかるような、よそうしていなかったできごとが起こってしまうのです。その出来事とは・・・

次回予告 遠ざかるハンバーグ

